INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客さんが主役です！

東日本の各地に大きな爪痕を残した台風 19 号。みなさんの家や町は大丈夫でしたか？

まだまだ片付けが済んでない家や復旧できてない土地も少なくないと思います。忘れることは無理でも、この二日間は思う存分レースを楽しんで、全力で戦ううライダーたちから元気をもらってください。

第 4 戦に続き、また泥んこのコンディションになってしまいそうな気配もありますが、スタッフが総力を挙げてこの大会を準備してきました。そんな SUGO の 1 番の特徴は、ダイナミックなコースレイアウトと充実した観戦席。スタート直後一気に急斜面を駆け上がる「大坂」の斜面とプラポータワーと呼ばれる第 2 中継席周辺が、全体を見渡せる特等席。ライダーのなるべく近くで観戦したいという方は、スネークコーナーや奥のヨーロピアンコーナー周辺がお勧めです。ここをホームコースとして育った渡辺祐介選手によると、「SUGO は他のどこより身近にバトルが楽しめる」とのこと。緊張感漂うタイトル争いや、モトクロスならではの接近戦をどうぞお楽しみください。

決勝レース開始前の選手紹介も、ここ SUGO の大きな楽しみの一つ。選手紹介の後にサイティングラップという下見走行の時間があるんですが、急げば好みの観戦ポイントに移動できると思います。

一カ所に陣取って見るのもいいですが、スタート前のライダーの表情を見たり、ジャンプ、コーナーとポイント変えながら観戦するのも楽しいです。コース外周を回ってみるくらいの勢いで、1 番面白そうな観戦ポイントをみつけてください。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年から IA1 が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白が IA2、青地に白が IB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンが LMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となってます。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTM がオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1 の山本選手と IA2 の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。IA クラスは H1 終了時点でポイント差が30になればタイトルが決定します。IA1 の場合、山本選手が成田選手の前でチェッカーを受ければその瞬間にチャンピオンが決まる可能性大。IA2の横山選手と大倉選手は、大きなアクシデントがなければ H2 までもつれ込みそう。すでに中島漱也選手のタイトルが確定した IB Open 以外は、日曜日に次々と今年のチャンピオンが誕生します。感動の瞬間をぜひ共有してください。

予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

ここまで読んで ???? となってしまった方、入場の際に受け取った公式プログラムをご覧ください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身の ×× 選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

メカニックさんにも聞いちゃいました！

Cycle Trader Rock River 内山 学さん

渡辺祐介選手のメカニックを勤める内山です。今シーズンも渡辺選手に帯同して一緒にアメリカで戦って来ました。渡辺選手はライダーとしてのスキルを高めようとする向上心が人一倍強く、時に熱くなり過ぎるところがあるんです。そこはタクさんが見てくれているので、メカとしてはとにかくマシンを完璧に仕上げることに専念しています。特に練習車と本番車を同じ状態にするよう務めてきました。練習で100%の走りができなければ、本番でも全力を出すことはできませんからね。今シーズン課題として取り組んで来た、スタートから1～3周で一気にトップスピードに上げる彼の走りにぜひ注目してください!!

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1 の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず～っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

各メーカー、チーム毎にトップライダーのサイン会やプレゼントが貰えるじゃんけん大会など様々なイベントや展示が行われています。たまたますれ違ったライダーと写真を撮ったり、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、多くのライダーが用意しているゼッケンシールを集めるとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらえます。

走り終わって砂まみれになったマシンをあっと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。また、ワークスチームはスタート後方の通路を進んだ先に展開しています。将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高める作業を行っています。メーカーの威信を背負うライダーももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも一見の価値があります。ライダーのコスチュームにも注目。派手なデザインばかりに目が行ってしまいますが、転倒などアクシデントが多い競技なので、安全への配慮も怠りません。「アレ、何だろう？」と思ったら思い切ってライダーやスタッフさんに質問しちゃいましょう。みんな気さくに答えてくれるハズ。もし「それはちょっと答えられません。」と言われたら、それこそ大きな秘密が隠されているに違いありません。

特設ステージでは、レジェンドライダーのサイン会なども企画されています。日曜の昼休みは必ずパドックに足を運んでください ね。

今すぐ知りたい。MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING 」ですが今年もやってます。料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。シーズンオフも様々な情報を配信します。みなさんぜひお申し込みください。

編集後記

前回九州大会の最中に東日本を北上した台風 19 号。関東や東北から遠征したライダーや関係者が不安を募らせる中、徐々に届き始めた被害の様子。実はぼくの仕事場もやられてしまいました。いわき市の実家を一部屋借りたワークスペースが河川の氾濫で床上浸水。現在床はボコボコ、昔のリザルトやプログラム等の資料、制作に関わった雑誌などがゴミになってしまいました。九州大会の 1400km走って 1 週間片付けに追われ、この大会が終わったら再び戻って床の張り替えやフィルムなどの救出に当たります。

とはいえもっともっと大変な思いをされている方少なくないと思うんです。転んだら立ち上がる。最後まで絶対に諦めない。モトクロスがそれを教えてくれました。みんな負けるな !!

最後に、今年も応援して頂いた皆様ありがとうございました。来年こそは、もっと頑張ります !!

MXING & MC Square 木田 淑

Arai HELMET
安全性能の追求！
株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

suspension service Technix
www.technix.jp

全日本モトクロス新聞 MXING MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Sports Land SUGO

ついに迎えたクライマックス。注目のタイトル争いはIA1クラスが#400山本 鯨、IA2は#386横山遥希、LMXは#6本田七海が王手をかけてここSUGOに戻って来た。感動の瞬間を見逃すな!! *Photo/K.Kida*

第57回MFJ-GP MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第8戦は、10月26～27日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。2019シーズンのクライマックス。IA1クラスは王座奪還を目指す山本 鯨が、IA2は初タイトルへ狙う横山遥希が、LMXはこちらも初タイトルに向かって突き進んで来た本田七海がポイント争いをリード。栄光と感動の瞬間へ。戦士たちが最後の火花を散らす!!

モトクロス観戦を楽しむポイント

一、好きなライダーを一人見つけておく。
二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
三、コースサイドから大声で応援しよう!!

V13を狙った成田が窮地に山本王座奪回へ首位再浮上！

ディフェンディングチャンピオンの**成田 亮**（#114）とタイトル奪還をめざす**山本 鯨**（#400）。ホンダの両エースが激しい攻防を繰り広げてきた国内最高峰 IA1 クラスは、前回九州大会で山本が今季 4 回目の総合優勝をマークしたのに対し、国別対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズで膝を負傷した成田は精彩を欠き、山本が開幕戦以来のランキングトップに再浮上。両者の差は一気に 28 ポイント差に広がり、山本が自身 3 度目のタイトルに王手をかけて最終戦を迎えた。順当に走りきれば、最終ヒートを待たずにタイトル決定となる可能性大。成田は奇跡の逆転に一縷の望みをかけてスタートグリッドに着くことになる。

山本と成田の後方では、ヤマハのエース**岡野 聖**（#8）、ワークスを相手に健闘してきたプライベーターの**深谷広一**（#51 ／スズキ）、**小島庸平**（#44 ／ホンダ）や**大塚豪太**（#155 ／ホンダ）。カワサキワークスの**小方 誠**（#4）、**星野優位**（#166 ／ヤマハ）らが勝利のチャンスを伺う。

さらに海外からは、アメリカで活動してきた**富田俊樹**（#718 ／ホンダ）と世界選手権 MX2 クラスで活躍したオーストラリアの若手**ミッチェル・エバンス**（#143 ／ホンダ）が参戦。国際格式で行われる最終戦に彩りを添える。

国内最高峰クラスタイトル決定の感動的瞬間とハイレベルなバトルに注目して欲しい。

ポイントリーダーの横山 vs. 大倉そこにアメリカ帰りの渡辺が参戦！

開幕戦九州大会でパーフェクト V を達成し、一躍新チャンピオン候補に躍り出た**横山遥希**（#386 ／カワサキ）。その横山を上回るシーズン 5 勝をマークして逆転タイトルを狙うのが**大倉由揮**（#36 ／ヤマハ）だ。タイトル争いは事実上この二人に絞られているが、今大会には一昨年のチャンピオン**渡辺祐介**（#110 ／ヤマハ）が参戦。ベテラン**平田 優**（#81 ／ヤマハ）と共に僅差で競り合う横山、大倉にとって気になる存在となりそうだ。

またここ SUGO と雨のコンディションを得意とする**鳥谷部晃太**（#37 ／ヤマハ）、**石浦 諒**（#954 ／ホンダ）や**内田篤基**（#38 ／スズキ）、**道脇右京**（#43 ／ホンダ）も十分優勝を狙えるライダー。第 3 戦中国大会でクラス初優勝を飾った**大城魁之輔**（#40 ／ホンダ）の怪我による欠場は残念だが、ようやく怪我から復帰してきた**小川孝平**（#912 ／カワサキ）にも注目したい。

初タイトルへ加速を続ける本田チャンピオン畑尾が帰国参戦!!

開幕からタイトル争いをリードしてきたヤマハの**本田七海**（#6）をホンダの**竹内優菜**（#4）と**川井麻央**（#2）が追うレディスクラスには、昨年のチャンピオン**畑尾樹璃**（#1 ／ホンダ）が帰国参戦。世界チャレンジで培った強さを披露する。

圧倒的なスピードと勝負強さを身に付け新女王の座に向かって突き進んできた本田と、そこに立ちはだかるライバルたち。どんなクライマックスを迎えるのか、熱いバトルから目が離せない。

最終戦を待たず前回九州大会の第 1 ヒートで**中島漱也**（#215 ／ヤマハ）がタイトルを決めた IB Open クラスは、IA 昇格を巡るランキング争いが熾烈。地元ライダーが多数エントリーしているやジュニア、チャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。コースサイドの声援がレースを盛り上げる。大きな声とアクションで応援しながら、シーズン最後の全力バトルを堪能して欲しい。

2019 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦	九州大会	4月13～14日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月11～12日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	中国大会	6月1～2日	広島県／グリーンパーク弘楽園
第4戦	SUGO大会	7月6～7日	宮城県／スポーツランドSUGO
第5戦	東北大会	7月20～21日	岩手県／藤沢スポーツランド
第6戦	近畿大会	9月14～15日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	九州大会	10月12～13日	熊本県／HSR九州
第8戦	MFJ GP	10月26～27日	宮城県／スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第8戦 MFJ-GP 開催おめでとうございます。
HONDA
SUZUKI
YAMAHA Revs Your Heart
Kawasaki

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。